

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 I使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	城南(仮称)警察署庁舎新築工事	階数	地上4F
建設地	福岡県福岡市城南区七隈7丁目41	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、第2種住居地域、防火地域 指定なし	平均居住人員	415 人
地域区分	7地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2020/7/30
敷地面積	4,801 m ²	作成者	松尾 大史
建築面積	2,036 m ²	確認日	2020/8/20
延床面積	6,828 m ²	確認者	福岡県警察本部 総務部施設課



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★☆☆☆☆ 80%: ★☆☆☆☆ 100%: ★☆☆☆☆ 100%超: ★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.4</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.3</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。</p>	<p>その他</p> <p>特になし。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>2.5% ≤ [昼光率]。 ロールブラインド、バルコニーを組合せてグレアを制御。 JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>外壁仕上げ材: タイル → 40年。 主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>特になし。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>[BPI]/[BPI_m] = 0.77。 [BEI]/[BEI_m] = 0.66。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水コマなどに加えて、省水型機器(節水型便器など)などを用いている。 LGS使用している。 LGSとOAフロアを使用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出率が、一般的な建物(参照値)に対して75%。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される